

コンテナ苗で人手のかかる苗木作り・運搬・植林を効率化

苗木需要の増加に対応し、人手のかかる苗木作り・運搬・植林までをコンテナ苗によって効率化しました。

	植林面積	苗木需要量
現状	8,200ha/年	1,900万本/年
↓	↓	↓
16年後	12,200ha/年	2,600万本/年

背景

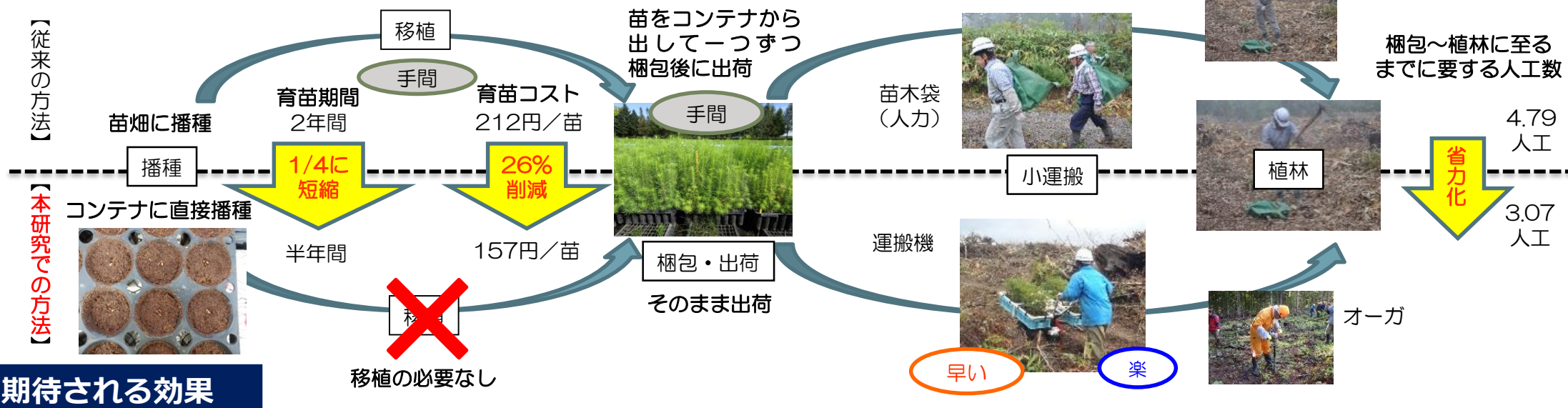
- 人工林の伐採に伴い、植林面積が大幅に増加すると見込まれています。
- 労働者不足や高齢化により、苗木の生産から運搬・植林までの効率化・省力化が求められています。

成果

効率的に苗木を作り、運搬・植林することが可能となりました。

1 近赤外光を用いて選別した発芽率の高い種子を直接コンテナに播くことにより、育苗期間と育苗コストを大幅に低減できました

2 育てた苗をコンテナ容器のまま効率的に運搬し、植えるシステムを構築しました



期待される効果

- 研修会を開催し、育苗技術を普及・定着させることにより、苗木需要の増加に応じた供給が可能になります。
- 多大な労力を要していた運搬・植林の効率化・省力化に貢献でき、植林面積の増加が期待されます。